



「世界の趣都 AKIHABARA」

～パーツ街からメイドカフェまで～

2015年12月19日実施 JGA 第一支部研修レポート



12月19日(土) 9:30～15:00、今や世界が注目する「日本のポップカルチャーの聖地」秋葉原にて、第一支部研修「世界の趣都 AKIHABARA」が実施された。

受講者は36名(正会員35名、非会員1名)。さらに、正会員から、2名が運営委員兼講師、2名が講師として、計4名が参加した。

研修は座学(会場:千代田区和泉橋区民館)とツアー(メイドカフェ体験含む)の2部構成。

第一部の座学では、まず木脇祐香理 JGA 副会長・NPO 法人秋葉原観光推進協会(ATPA)理事が「秋葉原を通して日本が見える 秋葉原の歴史と文化」と題して、戦後から現在に至るまでの秋葉原の変遷と、今の秋葉原で見られるものを紹介。その背景にある日本独特の文化や日本人の特徴をどう説明できるか、さらにゲーム・マンガ・アニメの社会への影響など、スライド、絵巻物やフィギュアなどを使って、具体的にレクチャーした。

続いて、現役のメイドさん/インフィニア株式会社 取締役社長の hitomi さんが「メイドカフェのなりたちとメイドカフェのいま」として、秋葉原のメイドカフェ文化について講義。間近に見るカワイイ hitomi さんに、参加者もやや興奮気味で、質疑応答にも熱が入った。通常、



メイドさんの写真を撮るのはNGだが、特別に参加者と一緒に記念撮影。全員でハートをつくって萌えポーズ。

さらに、JGA 会員も入会しており、今回の研修で多大な協力を得た NPO 法人秋葉原観光推進協会(ATPA)の理事・事務局長で、VISIT JAPAN 大使の泉登美雄氏が、「秋葉原の観光 ATPA の取り組み」と題し、秋葉原の観光地としての難しさや可能性を述べ、ATPA の活動を紹介した。



改めて木脇副会長が秋葉原のツアーとオペレーションについて講義し、これからのツアーについての注意点を述べた後、参加者は4グループに分かれ、講師4名(敬称略・全員 JGA 正会員/ATPA 会員:大谷薫、牧野浩子、長屋正子運営委員、木脇祐香理)が紹介された。

まずは大谷講師のガイドで全員で@ほお〜むカフェへ。ここでグループに分かれ、ランチを兼ねたメイドカフェ体験を楽しんだ後、講師ガイドの約2時間のツアーで秋葉原の魅力を満喫した。

秋葉原が苦手、初めて、という参加者が多かったが、研修を終えた頃には「秋葉原って面白い」「どこで何が見せられるかわかって自信が出てきた」「メイドカフェも健康的で楽しい」という声が聞かれた。講師達が練りに練ったツアー資料、ATPA 理事による秋葉原のテキストなど、通訳案内士がすぐに使える資料も豊富で、有益な研修となった。

